



特別号

第15回

らくぶん 樂文コンテスト

各賞受賞作品発表!!

君が大好きなこと

君の家族のことや友達のこと、
大好きなお祭や夢中になつてゐる事。
いろんな君の「大好き」を教えてください。
詩・作文・歌、君にあつた方法でかまわぬ。
一行でも、誤字脱字、
ぜんぶひらがなでもOK。
じょうずぢゃなくていい。
そう、「樂文」でいいんです。



近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください

<http://hakatanokaze.jp>

平成26年

- 4月 第32回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:大庭 宗一氏(NPO博多の風 理事長)
6月 第13回 追山コース探訪 開催
第14回 樂文コンテスト 開催
11月 第33回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:八木 繁氏
(九州電力株式会社 原子力コミュニケーション本部部長)

平成27年

- 4月 第34回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:因幡 敏幸氏(春日大野城那珂川消防本部)
6月 第14回 追山コース探訪 開催
第15回 樂文コンテスト 開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16-302

FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakatanokaze.jp
URL <http://hakatanokaze.jp>

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
・博多の風フォーラム開催
・広報誌・HP発行
・毎日新聞世論フォーラム公聴
・作文コンクール(樂文コンテスト)開催

■地域環境向上事業

- ・博多の町親交
(清掃活動クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)

■活性化事業

- ・書籍出版
・博多祇園山笠の振興
・追山コース探訪開催

■協力事業

- ・各市民団体との情報交換及び支援

◎主催 NPO特定非営利活動法人
博多の風

◎特別協賛 docomo

◎協力 博多祇園山笠振興会、
(株)毎日新聞社、RKB毎日放送(株)

◎選考委員 豊田侃也氏(博多祇園山笠振興会 会長)
永守良孝氏(RKB毎日放送 代表取締役 会長)
沢田幸二氏(KBC九州朝日放送 パーソナリティ)
大庭宗一 (NPO博多の風 理事長)

◎協賛 西部ガス(株)、西日本鉄道(株)

◎後援 福岡市、福岡市教育委員会、福岡商工会議所
(社)九州経済連合会、(株)岩田屋三越、九州電力(株)
九州旅客鉄道(株)、(株)九電工、コカ・コーラウエスト(株)
(株)西日本シティ銀行、NTT西日本福岡支店、(株)福岡銀行
[順不同]

第41号
平成27年11月発行

題字:新井光守



発表！ 第15回楽文コンテスト 入賞者

博多祇園山笠振興会賞

- | | | |
|-------------|-----------|--------|
| ・「私の大好きなこと」 | 松崎中学校1年 | 梅津 朱音 |
| ・「夢に向かって」 | 箱崎清松中学校1年 | 梶原 くるみ |
| ・「書道の楽しさ」 | 和白中学校1年 | 田中 星奈 |
| ・「僕が大好きなこと」 | 千代中学校2年 | 荒巻 龍朗 |
| ・「私が大好きなこと」 | 原北中学校2年 | 西村 美紅 |

NTTドコモ賞

- | | | |
|-------------|----------|------|
| ・「できた、タックル」 | 七隈小学校5年 | 徳永嵩直 |
| ・「最後の子供山笠」 | 博多小学校6年 | 大村結子 |
| ・「本を読む事」 | 和白東小学校6年 | 篠崎莉里 |
| ・「私の妹」 | 賀茂小学校6年 | 中村陽和 |
| ・「ぼくの大好きな弟」 | 博多小学校6年 | 矢野裕士 |

NPO博多の風賞

- ・「僕が大好きなこと」 箱崎清松中学校2年 謙訪 陸矢
 - ・「魔法の薬」 千代中学校2年 大和 未波
 - ・「私が嫌いで、大好きなもの」 照葉中学校3年 内立元りん
 - ・「一人の行動で雰囲気は変えられる」 照葉中学校3年 中野 碧
 - ・「私の大好きなこと」 箱崎清松中学校3年 松浦 矢苑

私の大好きなことは、音楽です。最近は、部活や夏休みのため、音楽とふれ合う時間が増えました。

私が音楽を本格的に始めたのは、小学2年生の時でした。幼稚園の頃から、歌うことやけんばんハーモニカが好きだったので、ピアノを習い始めました。それから、合唱やギターにも興味を持ち始めました。

その中でも、私が一番好きな音楽は、合唱です。合唱との出会いは、小学6年生のときです。クラブ活動でミュージッククラブに入ったことがきっかけです。ミュージッククラブでは主に合唱をし、N HKの合唱コンクールに出場しました。そして、私が歌うことが大好きだということを知った顧問の先生が、公民館でやつてているサークル活動にさそつてくれたので、合唱サークルに入りました。

学校でみんなの前で歌つたり、サークルでは老人ホームへ慰問に行つたり、みんなの前で歌うことが多くなりました。

● 松崎中学校一年

梅津 朱音

た。慰問に行つて歌つたときには、泣いてくれる人もいて、私たちの歌でこんなに感動してくれて、とてもうれしかつたです。私達、歌う方にとつてはがんばつて練習した成果を聞いてもらえるだけでも、私たちの喜びです。

夢に向かって

梶原 くるみ

る瞬間が大好きです。音楽は、「音を楽しむ」と書きます。私達の生活のなかでは、いろいろな場面で、いろいろな音楽が流れています。音楽は欠かせないものになっています。

そして、音楽は努力があるこそ、生まれるものだと思います。才能があつても、人一倍努力しているはずですが、なにもしないでうまくなる人はなんていないと思います。私も音楽では、誰にも負けたくない気持ちで日頃から歌ったり、声を出したり、ひまな時には楽器の運指を確かめたり、どこでも音楽を忘れないようにしています。

私の名前には「音」という字がついています。大好きな

私の夢は、ピアノのコンクールで優勝することです。このような夢ができたきっかけは家族との関係があります。私は、小さい頃からピアノをひくことが大好きで、毎日のようにピアノで遊んでいました。二年生の頃、いろんな曲がひけるようになりたいと思い、家族と相談し、ピアノを習い始めました。これが私の夢につながる第一歩です。私は、去年初めてコンクールに出演しました。その時は、練習をあまりしなかつたり、甘い気持ちで本番にのぞんでしまった結果、入選することができず、悔しい思いをしました。私は、コンクールが終わった瞬間から「来年は、もっと本気で練習に取り組もう。」と思いました。

私は、人前で発表する時、音を間違えたりして練習の成果が出せないことがよくあります。だから私は、この夢を叶えたいと思い始めてから、「

「音」という字とつながつて生きていけるよう、うれしいです。そしてこれから、もつともつといろいろな音楽に出会つて、学んで楽しんでいきたいと思います。

● 千代中学校2年 僕が大好きなこと

年

音楽会や合唱コンクールなど
のピアノ伴奏に、自分から積極的に立候補するようになりました。

私が、ピアノ伴奏を立候補することには、もう一つの理由があります。それは、「みんなの役に立ちたい」という理由です。私は、日頃、あまりみんなの役に立つことができません。だから、この時くらいは、みんなの役にたとうと思つて立候補をします。そして、友達や家族が喜んでくれる顔を見ると、それが、私の力になつて、また頑張ろうと思うことができます。

今まで、練習などに付き合つてくれたり、送り迎えをしてくれたり、いろいろと応援してくれる家族への感謝を忘れずに、練習に励んでいきました。一人の力では、何もできないけど、家族の支えがあれば、出来ることはたくさんあると思うので、これからも夢に向かつて、一步、一步歩んで行こうと思います。

●和白中学校1年

書道の楽しさ

田中 星奈

「わあすごいなあ。」

私は先生の字にどんどん魅了されていった。そう、私が大好きなのは書道です。

私は五才の頃、ある友達に

書道の楽しさ

田中 星奈

そしてある日、私は普段通り書道に行つた。すると、扉を開けた瞬間に書道の先生が、「星奈さん、あなたの習字バツク届いてるよ。」と言われ、私は飛びつくように先生の所に行つた。するとそこには、ピカピカの習字バツクがあり、私は、「これが本物の習字バツクかあ、すごく大きいし、かつこいいなあ。」と感動した。その日は使えないかったが、一週間後に母から、「使つていいよ」と許可がおりた。いざ使つみると、鉛筆になれていた私はとても難しく、自分の思つている字が書けず、悔しい思いをしていた。

こんな僕が今人生で初めて山笠に参加しませんでした。理由は祖父が亡くなつたからです。今まで山笠抜きの七月なんて考えることもできなかつた僕のもとに、その時はいきなりやつてきました。はじめのうちは「今年山笠に参加できないことは仕方ないことなんだから、山笠のことを考えることはやめよう」と思えた自分がいました。

しかし山笠の時期が近づくにつれ、山笠に出てみたいという気持ちは強くなり、山笠が始まつて「おっしょい」や「おいさ」という声を聞いたり、山笠の格好をしている友達や先生を見ると羨ましいと思つたり、自分が山笠に参加できないことに対してもう立ちを感じることもありました。

そんな中で学べたことが二つあります。まず一つ目です。

二つ目は、僕は今年山笠に参加できなかつただけだけど、中には僕と同じよう山笠に参加したいのにこの先それができない人達もいることです。その人達とは、女人の人達のことです。山笠は男人の人しか参加できないというルールがあります。だから山笠が大好きで、小学校のころまで山笠に参加できていた女人の人達は、中学生になると山笠に参加できなくなります。僕は今年、たつた一度だけ山笠に参加できなかつただけでこれだけの思いをしました。だからこれからは僕のような思いを持つ、女人の人分までしつかり力を出し尽くしたいと思いまし

新しい家族がやってきた

〔二〕

「この日が来た。」私はそう思
いながら、いつも以上に元気に
学校へ出かけた。今日一日の授
業を終えた後、急いで学校から
走つて家に帰ってきた。

それから時間になつたらマ
マと妹と私の三人で、家族が

いるペットショップへ車で行つた。そう、今日から私達の家族になる犬のお迎え日。犬の名前もう決めている。どんな名前がいいかといろいろ迷つたが、オスなので、名前はりょうまにした。なぜこの名前こしたかと、

うと、私達の家族は女子が多
く、パパはいつも一人で寂し
いのでオスを飼い、名前はパ
パが好きな坂本龍馬という人
物の名前をとつてつけた。

まだ、赤ちゃんのりょうまはとても小さくてかわいかつた。初めて小さいりょうまをだっこするのは、落としそうでソワソワしたが、とてもフワフワで、きれいなレッド色の毛を触るたびに癒された。りょうまを家の形の箱に大事に入れて持つて帰ったあの日のことをとても懐かしく思う家に着いたりようまは、初めのほうはすごく怖がつていて、今ではそんなことがなかつたように慣れていて、

てごりよんさん方の様子が気になりました。みなさん、「洗たくが大変！家中がめちゃくちゃ！」と話しながらも、楽しそうです。子供達やご主人を、カメラやビデオで懸命にとっています。注目され、ほめられるのは男なのにごりよんさんはどうしてうれしそうな顔をしているのでしょうか。その時、気が付きました。そういえば私も、私達が作ったお守りをみんながつけてくれた時は、とてもうれしかったし、男子が櫛田入りで真剣に山をかいでいる時は私もかいている気持ちで応えました。ごりよんさんはきっと、そんな気持ちで見守つていらっしやるのだと思いました。ずっと、山をかけない女である事がいやだと思つていましたが、ごりよんさんのように優しく支える女はかつこいいと思うようになりました。学校で、ごりよんさんの経験が出来て良かったです。

私が大好きな事は、本を読む事です。特に物語を読むのが好きです。

篠崎
莉里

蘋果

だよ」という本を読んだ事です。この本は中学生の主人公の女の子の学校生活を描いた物語です。本だと分かっていても、本の世界に引き込まれてしまうような今までに感じた事のない感覚を覚えました。そして、読んでいくうちに、元気が出たり、やる気が出たりしました。

「泣いちゃいそうだよ」はシリーズになっていて、そのシリーズの中に「本はどこでもドア」という言葉があります。本を読めば、どこにでも行けるという事です。私は思わずうなずいてしまいました。なぜならこの言葉の意味が私が本が好きな理由だからです。想像という力さえあれば、色々な世界へ連れていくくれる本はとてもすごいと思います。

そして、本は作者へと通じているドアでもあると私は思います。なぜなら、本には作者が読者に伝えたい事や感じてほしい事がつまっているからです。これは人が書いた本である限り、どんな本にも共通していえる事だと思います。なので、私はもつと本を読み、色々人の考え方や感じ方を知りたいと思っています。

「泣いちゃいそうだよ」を読むようになつて、他の本も読むようになりました。すると、私の部屋にある小さな本棚は本でいっぱいになりました。そして、教科書など、明日の学校の準備をする時に学

校に持つていく本を本棚の前で選んでいます。持つていつた本は何もする事がないヒマな時などに読んでいます。持ち運びやすくて、ちょっとした時間にでも読む事が出来るという事も本の大きな魅力だと私は思います。

これから、中学、高校と進んでいきますが、大人になつても私は「泣いちやいそうだよ」とこの本をすすめてくれた友達の事を忘れないと思います。そして本当に感謝しています。私の友達のように誰かに本を好きになるきっかけを作つてあげられる人に私もなりたいです。

また、最近インターネットなどが普及してきて、本を読む事が減つてきている気がするけれど、本も人々にずっと読まれ続けてほしいと思います。

るとその時のことを見い出します。妹が元気でいてくれて本当によかったです。
妹はいつもあまえんぼうです。けんかをするとすぐ泣きます。時々うそ泣きもします。そしてお母さんにいいつけるので、するいなあと思う時があります。いつもへらへらしているので、きっと妹は、なやみなんていなんだなあと思つていました。

ある時私が、お友達のことでなやんでいて、お母さんにお相談していました。そしたら妹が「お姉ちゃんがお友達を好きになつたらいいっちゃないと。そしたら、お友達もお姉ちゃんのこと好きになるよ。」と言つたのです。

私はびっくりしました。その通りだと思いました。まず自分が変わればいいんだと分かると、心が少し軽くなりました。妹にたすけてもらつた気がします。口に出しては言えないので、心の中で「ありがとう」と言いました。

私の名前も妹の名前にも、太陽の「陽」が入っています。お父さんたちが、太陽のようにな人になつてほしいと思ってつけたそうです。私も太陽のように自分だけが、かがやくのだけではなく周りも照らしていくような人になりたいです。これからも、けんかもするけど、なんでも話せる妹でいたいです。

●博多小学校6年 矢野 裕士

ぼくには、一人の弟がいます。弟は記憶力と観察力がすごくて、何年も前に、一度だけ通った道の周りの建物などを正確に覚えています。けれど、弟には生まれつき、自閉症という障がいがあります。ぼくは、弟を見ると自分がめぐまれていることに気付きます。ぼくの弟は、自分の気持ちを言葉で表したり、人とうまく話したりすることができます。だから、ぼくが通っている小学校には行けません。

弟は、スクールバスに乗つて一時間くらいの所にある特別支援学校に通っています。特別支援学校には、様々な障がいをもつた子が通う学校です。ぼくは、ふつうのことがふつうにできます。例えば、宿題は一人でできるし、友達と一緒に遊んだり、買い物をしたり、一人で学校へ登校したりできます。でも、ぼくの弟は親といつしょに行動しています。生活するには周りの人の助けが必要なのです。また、弟は耳の聞こえ方がふつうの人よりも敏感で、ヘリコプターの音やトイレの流れる水の音、犬や子どもの泣き声がとても苦手です。それでしょっちゅう耳をふさいでいたり、こわがつたりします。このような自

「いってらっしゃい。」
とほえて言つてくれる。また、疲れて帰つて来たときも走つてお出迎えをしてくれて、元気付けてくれる。そんなりょうまが私は大好きだ。

これから先、健康で元気に過ごしてほしいし、今みたいに家族みんなのアイドルでいてほしいと思う。りょうまは私達の大好きな大切な宝物なので、これから先もずっと大事にお世話していきたい。

とてもやんちゃだ。
だけど時には、家族みんなを癒したり、元気付けてくれたり、家族みんなのアイドルであり、かけがえのない存在だ。りょうまはいつも私が学校に行くときにお見送りしてくれる。

●七隈小学校5年
できた、タツクル
N-1ードコモ賞
徳永嵩直

ツクル
年

ツクル
年

た。
「そして、今日も、青いサン
ドバッグに何回とたてにタツ
クルことができた。」「よ
し、紅白試合では、強い人を
たおすぐ。」相手チームには
わたなべ君としゅうほ君とい
う六年生がいる。二人とも足
が速い。しゅうほ君は力が強
くて、こうげきの中心になつ
ている。

今日は紅白試合。ぼくが、
今日マークするのは、わたな
べ君だ。なぜ、ぼくがわたな

● 博多小学校6年

私は山笠が大好きです。山笠をかいたり、台上がりしたり、鼻どりをしたいです。でも、女だから出来ません。

私が通う博多小学校では、

最後の子供山笠

大村 結子

次の大大会では、タツクルをい
っぱい決めて勝ちたい。

たり、人形作りのお手伝いをしました。子供山笠当日は、三日間とも、始めの会から終わりの会までずっと応援して回りました。

が、しかし、三日目の最後の記念写真撮影に、女子は参加させてもらえませんでした。私だけでなく、三日間ずっと懸命に応援していた他の女子達も、がっかりしたり、おこつたりしていました。

数日後、大人の山が動き出しました。毎年かき山ばかり

年生の中で一番速いのは、ほくだからだ。

前半が始まつた。わたなべ君をつかまえて、タツクルしだけど、しゅうほ君には、たおされてしまつた。「ピピピー。」前半終了の合図だ。このとき点数は二十対五だ。圧倒的に負けている。

後半が始まつた。今度こそと思ったけど、しゅうほ君は速くてなかなかタツクルできない。後半最後らへんで、しゅうほ君にタツクルするチャンスがきた。「ドン。」「ついに、しゅうほ君にタツクルした。しゅうほ君はねばつた。それでも、ぼくはタツクルを続けた。ぼくは心の中で「ぼくならできる。」と心の中で何度もつぶやいた。いつしゅんの出来事だつた。気がつくと、しゅうほ君がたおれていった。お母さんたちのおどろきの声が聞こえてきた。

事があり、六年生は全員、人形作り・手のござめ・ござんさんのグループに分かれ、六月に準備をします。どこのグループも男女混合で、ござんさんグループに男子もあります。私は女だけれど、少しでも山笠に関わりたいと思いまい、子供山笠の実行委員になります。ござんさんグループのリーダーになりました。ござんさんグループは、山笠の歴史を調べて学ぶ事から始まり、子供山笠に参加する全員のためにお守りを作つたり、当日応援するための横断幕を作つたり、参加する全員にするまうぶた汁作りをします。ぶた汁作りは、数日前に、本物のごりよんさん方が来校して指導してくださいます。私は、ごりよんさんグループのリーダーとして、自分で考えて、六月中旬の休日に行われる棒締め縄ないの見学に行

●賀茂小学校6年 中村 陽和

私は妹

作つてあげられる人に私もなりたいです。

また、最近インターネットなどが普及ってきて、本を読む事が減つてきている気がするけれど、本も人々にずっと読まれ続けてほしいと思います。

中村
陽和

中村
陽和

私の名前も妹の名前にも、太陽の「陽」が入っています。お父さんたちが、太陽のような人になつてほしいと思ってつけたそうです。私も太陽のように自分だけが、かがやくのだけではなく周りも照らしていくような人になりたいです。これからも、けんかもするけど、なんでも話せる妹でいいです。

一人で学校へ登校したりで生きます。でも、ぼくの弟は親といつしょに行動しています。生活するには周りの人の助けが必要なのです。また、弟は耳の聞こえ方がふつうの人よりも敏感で、ヘリコプターの音やトイレの流れる水の音、犬や子どもの泣き声がとても苦手です。それでしょっちゅう耳をふさいでいたり、こわがつたりします。このような自

「前半が始まつた。わたなべ君をつかまえて、タックルしたけど、しゅうほ君には、たおされてしまつた。「ピピピ！」」「前半終了の合図だ。このとき点数は二十対五だ。圧倒的に負けている。

後半が始まつた。今度こそと思ったけど、しゅうほ君は速くてなかなかタックルできない。後半最後らへんで、しゅうほ君にタックルするチャンスがきた。「ドン。」ついに、しゅうほ君にタックルした。しゅうほ君はねばつた。それでも、ぼくはタックルを続けた。ぼくは心の中で「ぼくならできる。」と心の中で何度もつぶやいた。いつしゆんの出来事だつた。気がつくと、しゅうほ君がたおれていった。お母さんたちのおどろきの声が聞こえてきた。

事があり、六年生は全員、人形作り・手のござめ・ござんさんのグループに分かれ、六月に準備をします。どこのグループも男女混合で、ござんさんグループに男子もあります。私は女だけれど、少しでも山笠に関わりたいと思いまい、子供山笠の実行委員になります。ござんさんグループのリーダーになりました。ござんさんグループは、山笠の歴史を調べて学ぶ事から始まり、子供山笠に参加する全員のためにお守りを作つたり、当日応援するための横断幕を作つたり、参加する全員にするまうぶた汁作りをします。ぶた汁作りは、数日前に、本物のごりよんさん方が来校して指導してくださいます。私は、ごりよんさんグループのリーダーとして、自分で考えて、六月中旬の休日に行われる棒締め縄ないの見学に行

● 博多小学校6年

最後の子供山笠

大村 結子

私は山笠が大好きです。山をかいたり、台上がりしたり、鼻どりりをしたいです。でも、女だから出来ません。

私が通う博多小学校では、

次の大大会では、タツクルをつけい決めて勝ちたい。

たり、人形作りのお手伝いをしました。子供山笠当日は、三日間とも、始めの会から終わりの会までずっと応援して回りました。

が、しかし、三日目の最後の記念写真撮影に、女子は参加させてもらえませんでした。私だけでなく、三日間ずっと懸命に応援していた他の女子達も、がっかりしたり、おこつたりしていました。

数日後、大人の山が動き出しました。毎年かき山ばかり

「前半が始まつた。わたなべ君をつかまえて、タックルしたけど、しゅうほ君には、たおされてしまつた。「ピピピ！」」「前半終了の合図だ。このとき点数は二十対五だ。圧倒的に負けている。

後半が始まつた。今度こそと思ったけど、しゅうほ君は速くてなかなかタックルできない。後半最後らへんで、しゅうほ君にタックルするチャンスがきた。「ドン。」ついに、しゅうほ君にタックルした。しゅうほ君はねばつた。それでも、ぼくはタックルを続けた。ぼくは心の中で「ぼくならできる。」と心の中で何度もつぶやいた。いつしゆんの出来事だつた。気がつくと、しゅうほ君がたおれていった。お母さんたちのおどろきの声が聞こえてきた。

事があり、六年生は全員、人形作り・手のござめ・ござんさんのグループに分かれ、六月に準備をします。どこのグループも男女混合で、ござんさんグループに男子もあります。私は女だけれど、少しでも山笠に関わりたいと思いまい、子供山笠の実行委員になります。ござんさんグループのリーダーになりました。ござんさんグループは、山笠の歴史を調べて学ぶ事から始まり、子供山笠に参加する全員のためにお守りを作つたり、当日応援するための横断幕を作つたり、参加する全員にするまうぶた汁作りをします。ぶた汁作りは、数日前に、本物のごりよんさん方が来校して指導してくださいます。私は、ごりよんさんグループのリーダーとして、自分で考えて、六月中旬の休日に行われる棒締め縄ないの見学に行

分の苦手な物やこわい物、自分の気持ちをだれかに伝えたり、助けを求めることができないので、急に大声で泣いたりパニックを起こすので時々困つてしまします。弟が辛いのを分かつていても怒つてしま

も、戦い続ける弟を見て、がんばつてはいるなと思います。これからも共に泣いたり、怒ったり、笑つたり、兄として弟を応援したいです。「だいじょうぶだよ。がんばれ、せいじ！」

くないので、どんなおはなし
かそういうしながらよんでい
ます。

わたしがほんをえらぶポイ
ントはひょうしのえです。た
とえば、えがあかるかつたら
あかるいおはなしだとおもい
ます。

もうひとつのおはなし
ポイントはま

● 城原小学校2年
これぐらいサッカーが好き
ぼくは、いえのわしつで、ふ
すまがこわれそうになるぐらい
高見 航星

でも人をぬけて、スピードもメチャクチャ早くて、シユートもうまくて、トラップもうまくな
りたいです。せかい一のプレイヤーになつて、日本だいひょうでかつやくして、日本のサッカーチームがせかい一になりたいです。

RKB毎日放送賞

160 JOURNAL OF CLIMATE

賓田明

よく覚えていて今でも話してくれる。ぼくも弟みたいな記憶力があればなと思うことがあります。でも、その記憶力のためには、昔の辛かつたことや悲しかった経験を忘れることができなくて時々思い出して辛くてたまらない気持ちになることがあるのだと両親が教えてくれました。いやなことをいつまでも忘れられなかつたり、苦手な音がたくさんあつたりする弟ですが、苦手なものでも次第になれて我慢できることが増えています。

わたしはほんをよむことが
だいすきです。うちえんの
ころはおやすみのひにとしよ
かんにいってたくさんのはん
をかりていました。
しようがつこうにはとしよ
しつというへやがあつてたく
さんのはんがぎつしりならん
でいてびつくりしました。や
すみじかんになるとはやくほ
んをよみたくてまいにちとし
よしつにかよいました。なら
んでまつているときは、きよ
うはどんなほんをかりようか
とか、さきにならんでいるひ
とにかりられてしまふかも、
とどきどきします。
いままではえほんしかよん
でいなかつたけれど、ぶあつ
いほんをよめるようになりま
した。ぶあついほんはえがす

もうひとつポイントはほんのだいめいです。かわつただいめいはおもしろいとうじょうじんぶつがでてくるよなきがします。

もくじもほんをえらぶだいじなポイントです。もくじをみてこのほんをよんでもみたいとかんじたらきまりです。

わたしはほんをよみだすとほんのせかいにひきこまれてしまします。おはなしにでてくるひとたちといつしょにでかけたり、あそんでいるよなきもちになります。いつしょにどきどきはらはらします。

ほんをぜんぶよみおえたどきは、おもしろかつたなあ、というきもちと、ああ、もうおわつてしまつてざんねんだな、というきもちになります。これからもたくさんほんをよんでおはなしのせかいをた

がたです。それでもサッカーがすきです。

サッカーチームは、雨の日でサッカーがちゅうしになつても、日本だいひようはサッカーをやるから、ぼくもそれをしてみたいのです。日本だいひようのコーンキックのときに水をのんで水とうをなげるのもしたいです。れんしゅうだけがをしてもらひます。

どんなにあつても、どんなにあせをかいても、どんなにまぶしくてもサッカーがすきです。おとなだけのフットサルについていつて点をきめます。3点きめたら、じどうはんぱいきで、おとうさんがジュースを買ってくれます。いまのところナタデココが一ばんです。

日本だいひよになつたら、むきになりたいです。なん人

めました。ときどき、バッティングセンターにもつれていくつもbr/>らいます。もつと上手になります。たくて、家の近くのやきゅうチームのたいけんにも行きました。
そこで、二ヶ月間れんしゅうをしました。そして、この間ありました。
いがありました。ぼくは、二ばんのセカンドにえらばされました。
「二ばんだから、ぜつたいにうつぞ。」
と思いました。はじめて、ネクストバッターズボックスに入る
と、五、六年生が、「ホームランうて。
と言つてくれました。ぼくは、
「がんばるぞ。」
という気もちになりました。だ
せきに立つと、むねがドキドキしました。3ボール2ストライクになると、もつとドキドキしました。さいごの玉はよく見て

わたしの大好きな家族

●小田部小学校3年

藤本
愛衣

わたしは四人家族です。私のほかにお母さん、お父さんお姉ちゃんがいます。

さんのためにも2倍がんばっています。わたしは家族のためにがんばって仕事をしてくださいね。お父さんに、一番かんしゃの気持ちをつたえたいです。わたしはお父さんが大きです。

● 金山小学校4年
がんばらなくちゃ
小 橋 井 千 里

てくれたので、弟といつしょにラグビーの体験に行きました。ちゃんとやれるかなと、とても不安でした。

けれど行ってみると同じ学年の女子も二人いて、かんとくもコーチも優しいし、軽い気持ちで入部する事にしました。

最近は、新しい友達も増え、女子も七人になりました。四年生になって、高学年の練習に入る事がが多くなり、一週間に二回、土、日の練習です。

わたしは「世界で一番家族が大切だ」ということに気づきました。

何をしてもおうえんしてくれるお母さん。みんなのためにがんばっているお父さん。何事でもはげましてくれるお姉ちゃん。

わたしは、そんな「家族」が「大好き」です。

がんばらなくちゃ

●金山小学校4年
小樋井 千里

てくれたので、弟といつしょに夏休みの間は、お父さんは仕事、お母さんは学校で、私はるすばん。そんなつまらない夏休みなんていやだつたけど、お姉ちゃんといっしょにいるからこそ、るすばんでも楽しい毎日でした。やさしいお姉ちゃんに「ありがとう」と思いました。いやを楽しいにかえてくれたお姉ちゃんがわたしは、大きです。わたしは「世界で一番家族が大切だ」ということに気づきました。

何をしてもおうえんしてくれるお母さん。みんなのためにがんばっているお父さん。何事でもはげましてくれるお姉ちゃん。

がんばらなくちゃ

子三人しかいません。なので四年生の試合では、三年生の男子が加わり、がんばっていますが負けてしまいます。くやしくてなみだが出る時もありますが、「学年や、せい別のせいではなく、私達の練習がまだまだ足りないんじやないか。」と思います。きつくてたまらない練習や、試合に

小樋井
千里

てくれたりするお姉ちゃんで、夏休みの間は、お父さんは仕事、お母さんは学校で、私はるすばん。そんなつまらない夏休みなんていやだつたけど、お姉ちゃんといつしよにいるからこそ、るすばんでも楽しい毎日でした。

やさしいお姉ちゃんに「ありがとう」と思いました。いよいよを楽しいにかえてくれたお姉ちゃんがわたしは、大きすぎです。

わたしは「世界で一番家族が大切だ」ということに気づきました。

何をしてもおうえんしてくれれるお母さん。

みんなのためにがんばつているお父さん。

何事でもはげましてくれるお姉ちゃん。

わたしは、そんな「家族」が「大好き」です。

「おーい。何しようとか!」
だらだらせんではよ走らんか
し。タツクルタツクル。」
と今日もかんとくの元気な声
がグラウンドにひびきます。
私は「もう頭クラクラで走れ
ん。かわりにかんとく走つて
くれ!」と心でさけんでい
ます。

んはるそりと思ひます、

てくれたので、弟といつしょにラグビーの体験に行きました。ちやんとやれるかなと、とても不安でした。

けれど行つてみると同じ学年女子も二人いて、かんとくもコーチも優しいし、軽い気持ちで入部する事にしました。

最近は、新しい友達も増え、女子も七人になりました。四年生になって、高学年の練習に入る事が多くなり、一週間に二回、土、日の練習です。

「ハア。」

とみんなのため息も聞こえてきます。私も、暑くて暑くて、きゅうけいしたいのに、きゅうけいできるのは一時間に一、二回。それもたつたの三分間、練習中に何度も何度もため息をついては走り回っています。

「うけいから休みたい。やめた」と声をかけてくれます。その一言で私も「がんばるぞ。」と思います。

そういう人達に見守られているから、これまで続けられていると思います。

そしてチームには、三十人以上の仲間がいます。

きつい時に、笑わせてくれたり、一しょに行こうとさそってくれたり、はげましてくれたりしてくれます。

それにかんとくのごぼうびが楽しみです。アイスクリーミュやおかしなどを時々くれます。つかれもすつとびましたが、よう來は可をするかはま

てくれたので、弟といつしょにラグビーの体験に行きました。ちやんとやれるかなと、とても不安でした。

夏休みの間は、お父さんは仕事、お母さんは学校で、私はるすばん。そんなすまらない夏休みなんていやだつたけど、お姉ちゃんといつしょにいるからこそ、るすばんでも楽しい毎日でした。

やさしいお姉ちゃんに「ありがとう」と思いました。いやを楽しいにかえてくれたお姉ちゃんがわたしは、大きです。

わたしは「世界で一番家族が大切だ」ということに気づきました。

何をしてもおうえんしてくれるお母さん。

みんなのためにがんばつているお父さん。

何事でもはげましてくれるお姉ちゃん。

わたしは、そんな「家族」が「大好き」です。

がんばらなくちゃ

●金山小学校4年

●香陵小学校2年

ぼくの大好き云々

からならいはじ

めました。ときどき、バッティングセンターにもつれていくつもbr/>らいます。もつと上手になります。たくて、家の近くのやきゅうチームのたいけんにも行きました。
そこで、二ヶ月間れんしゅうをしました。そして、この間ありました。
いがありました。ぼくは、二ばんのセカンドにえらばされました。
「二ばんだから、ぜつたいにうつぞ。」
と思いました。はじめて、ネクストバッターズボックスに入る
と、五、六年生が、「ホームランうて。
と言つてくれました。ぼくは、
「がんばるぞ。」
という気もちになりました。だ
せきに立つと、むねがドキドキしました。3ボール2ストライクになると、もつとドキドキしました。さいごの玉はよく見て

